

中国留学体験談

国際学部 2 年

21017082 田中奏恵

8 月 27 日から 1 月 7 日までの 4 か月半の間中国に留学に行ってきました。その体験をここに記します。

私は大学に入るまで、中国に対してあまりいいイメージを持っていませんでした。それは中国に関して何も知らないこと、知ろうとしなかったことが原因だったと思います。しかし大学に入学し、中国に関する授業を履修したり中国語を学んでいくうちに、中国に興味が出てきました。今回の留学を決めたのも、チャンスがあるから行ってみよう、といった単純な理由でした。行く前にはたくさん不安がありましたが、先輩方に相談ながら準備をしました。

留学に行って一番成長できたと思うことは中国語スキルの向上です。着いた当初は何を言っているのか全く聞き取れず、食べ物を注文するときも書いてある文字が読めないため、メニューの写真を撮って指をさして注文する、という生活をしていました。授業中も先生は説明してくれているのですが、単語が分からず悔しい思いもしました。だから毎日予習を欠かさずにしました。新出単語だけでなく、教科書の本文の中にある分からない単語まで全て調べ、授業中も電子辞書を隣に置きながら、先生がその単語を使って説明することをメモし、放課後に見直していました。このようなことを毎日繰り返しているうちにだんだん語彙力が上がってきて、1 か月半くらいたつと先生の言っていることが分かるようになってきます。それから自信が出てきて、クラスメイトや中国人とも積極的に交流できるようになりました。

食事の面では特に不便なことはありませんでした。学内にはたくさん食堂があり、お気に入りの食べ物を見つけて食べに行っていました。私は特に学外にある安くておいしい餃子屋さんがお気に入りでした。その餃子は日本のものよりもおいしいと思います。冬になって寒くて外に出たくない、デリバリーして部屋で食べていました。デリバリーは中国のアプリを使って食べたいものを選んで注文すると、寮の前まで届けてくれるのでとても便利です。野菜がとれない、ということもありましたが、毎日果物を食べて栄養を補っていました。果物は安くて美味しかったです。

中国は現在ほとんどのお店で電子マネーが普及していて、現金を使う機会はとても少なかったです。電子マネーでやり取りすることはとても便利で、友達との割り勘も WeChat に送金するだけだったので簡単でした。電子マネーは、中国の銀行口座と自分の中国で買ったスマートフォンをつなげることで利用できます。私たちは着いてすぐそれらの手続きを行い、その後の生活にとっても便利でした。また、電子マネーを利用して中国でネットショッピングをしていました。ネット上で買うと安だけでなく、中国のものに限らず日本製のものも売っていたので、服や食品やお土産などを買うときによく利用していました。

私は今回中国留学に参加して、かけがいのない出会い、経験をしました。ニュースで取り上げられている悪いイメージの中国はほんの一部でしかなく、実際には優しい人や便利なものが

たくさんあるとてもいい国です。帰国しても中国語の勉強に力を入れ、また中国に行きたいと思うようになりました。学びたいことを学べ、広い交流を持てたことは留学に参加しなければ手に入らなかったものです。本当に中国に留学に行ってもよかったと思える4か月半でした。